

2025年度 第6回北海道レフェリーアカデミー 事業報告

報告者:鈴木辰汰(オホーツク地区)

【日時】2025 年 9 月 6 日(土) 9 月 7 日(日)

【1 日目】

会場:キックロス音更、木野コミュニティセンター

時程:9:00 集合

10:15 試合実践

12:10 移動・昼食

13:30 講義① A 項目「ファウルと不正行為」について

担当:古曾部 RAM

14:30 試合振り返り

15:15 審判員プレゼンテーション

16:30 講義②「実録! マンマネジメント」

担当:今川 RAI

17:30 諸連絡・解散

○担当試合

担当:十勝地区カブスリーグ 1 部 帯広翔陽中 VS 川西中・大空学園 (主審)

担当 INS:伊藤 RAI

〈自己分析〉

あまり行わないカテゴリーの試合で手探りでありながら選手の為を軸にしてレフェリングをすることを意識した。14 分のハンドで PK の場面では、果たしてそれをハンドとして取るべきであったかを考えなければいけない場面となった。また今回は RAC 生として自分達が審判をする事の意味について考える場面がいくつもあり、特に育成年代の選手達には「これはダメなんだよ」と伝えるという大切な役割も担っているのではないかと考させられた試合であった。

〈INS 分析〉

目的や課題を克服しようと望んだ様子が伺えます。また 8 月の全国研修を経て少し自信がついたように思います。

動きの部分については、以前はフィニッシュに至るまでポジションを内側に位置しそのまま近づいてフィニッシュを監視することが多かったですが、今回はタイミングよく R サイドに角度をとって監視できていたところは良かったです。

この試合で一番悔やまれたのは、PK を与えた場面で選手が泣きながら判定に関して聞きに来た場面でした。確かに手に当たっている、、、もう一度ハンドリングの整理という課題も出ました。選手は、レフェリーが良い動きをしてくれたら嬉しい(安心・納得)なのではないでしょうか! まずは的確な判定をしてくれて、尚且つその判定が説得力ある位置で判定してくれたら安心・納得なんですよ! 動きにフォーカスする気持ちも十分わかります、でも判定するための動きであることを改めて認識して今後の割当を取り組んでください。

○講義

〈講義①感想〉

実際の事象映像を用いて審判員、INS それぞれの判定の根拠をディスカッションしながら、何を意識しなければいけないのか、どこを見なければいけないのかを整理した。4 月から取り組んでいる虎の巻の作成が活きているように感じた。球際の判定は全国研修でもテーマになっているほど今、重要視されている部分なのでこれからも緊張感を持って見極めていこうと思った。

〈プレゼンテーション感想〉

全国大会での事象や研修内容を 4 人それぞれがプレゼンを行った。各々アドバイスや起こった事象が違い、新たな学びを得ることができた。このような活動はアカデミーの良さだと思うので、自分たちでも積極的に行っていきたいと思う。

〈講義②感想〉

今川 INS の実体験を含めたマネジメントについての講義であった。選手としての前にそもそも人としてどのように伝えられると不快にならないか、どうしたら思いが伝わるのかを様々な例を基にして考えた。特に、ボディランゲージの活用や感謝の言葉を伝えるといった日常でも大切なコミュニケーションの方法を審判活動でも行うことがマネジメントを行う上で大切だと学んだ。日常と審判を分けて考えるのではなく、同じものとして考えてこれから取り組んでいこうと思う。

【2 日目】

会場：中札内交流の杜サッカー場、帯広北高校

時程：8:30 集合

10:00 試合実践「道東ブロックリーグ 蹴鞠会 VS FC コパン」（副審）

12:15 移動・昼食

13:30 試合振り返り

14:00 フィジカルトレーニング「ランニングフォームの検証等」

15:30 諸連絡・解散

〈全体を通して〉

今回、第 6 回 RAC に参加させていただきました。

全国研修会を終えて、自分の課題や強みに関して考えてきた中での活動で沢山のチャレンジと学びを得ることができました。次は北海道の中でも特別な位置付けとなる高校選手権の予選に参加することとなります。初の高校選手権、今シーズンの集大成となる舞台で選手たちが躍動できるように自分が今シーズン学んできたすべてのことを駆使していい準備をして臨みたいと思います。その意味でも今回の RAC では今シーズン学んできたことを整理することができたのではないかと考えています。今回学んだことを活かして今後の審判活動に励んでいきたいと思っています。

今回派遣して頂いたオホーツク地区サッカー協会の皆様、担当して頂いたインストラクターの皆様、試合の機会を頂きました試合運営関係者の皆様、チーム関係者の皆様誠にありがとうございました。